

(5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しているものの、一服感がみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

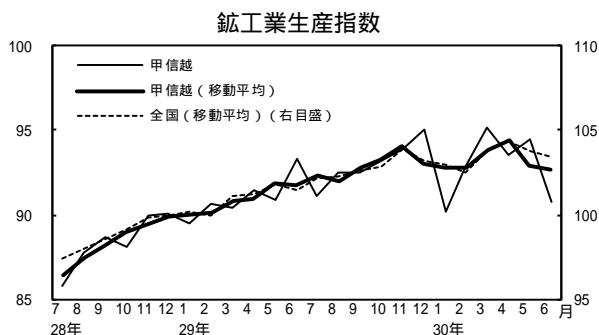
前回調査からの主要変更点

	前回(平成30年5月)	今回(平成30年8月)	
個人消費	持ち直し	<u>緩やかに増加</u>	
住宅建設	増加	大幅に減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しているものの、一服感がみられる。

4 - 6月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、増加した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、増加した。「輸送機械」は、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
電子デバ、電気・情報通信	42.8	1.5	0.6	1.0	4.9	7.4
汎・生産・業務用機械	17.9	0.6	1.3	3.5	1.0	5.4
石油・石炭製品、化学、プラ製品	10.5	2.2	2.5	1.1	3.9	2.0
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.6	1.0	2.2	0.0	1.1	2.6
輸送機械	7.1	0.6	2.3	1.0	3.6	3.5
鉱工業	100.0	1.4	0.2	1.8	1.1	3.9

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 4 - 6月期、6月は速報値。

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。甲信越の最新月は速報値。

2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

3. 甲信越は内閣府にて算出。

(2) 日銀短観における新潟支店管内の業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

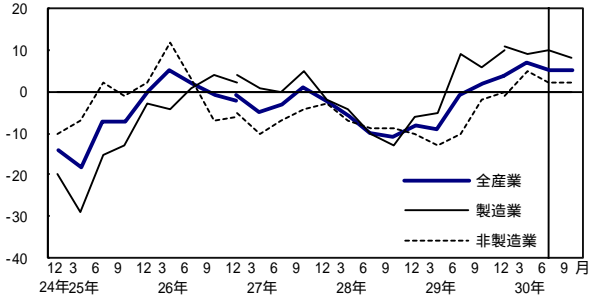
甲府支店管内の業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

松本支店管内の業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

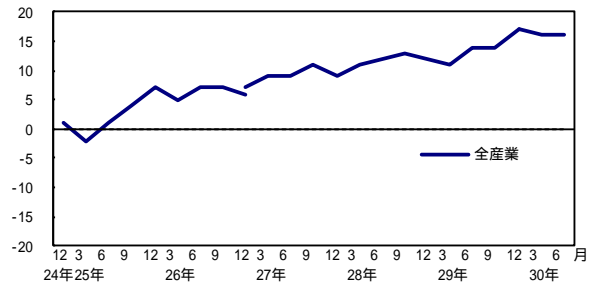
(5) 甲信越

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

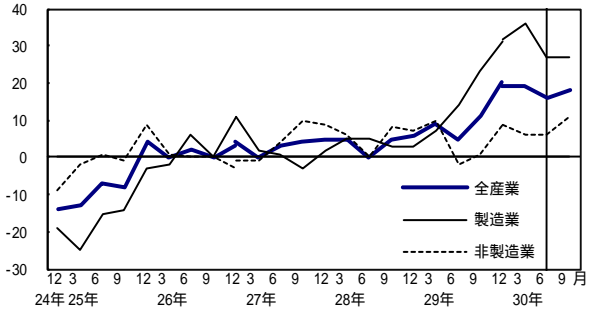
(%ポイント) 新潟支店 企業短期経済観測 [業況判断]



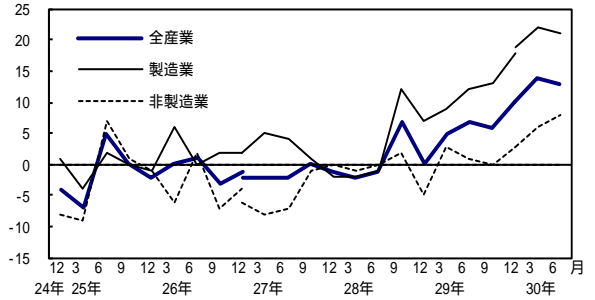
(%ポイント) 新潟支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



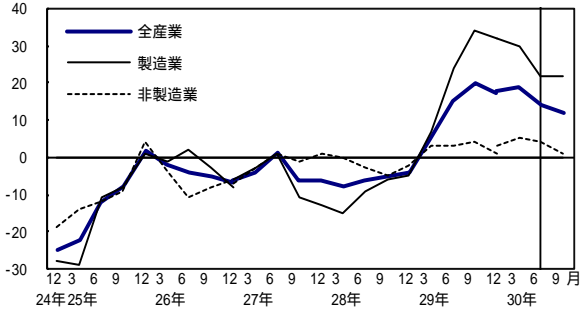
(%ポイント) 甲府支店 企業短期経済観測 [業況判断]



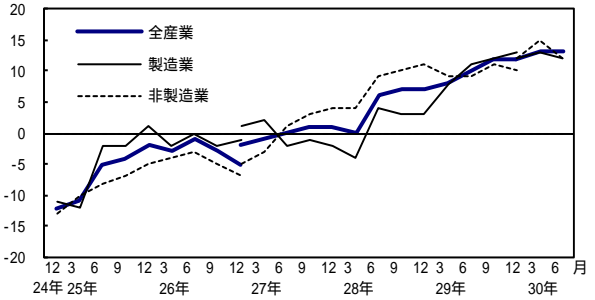
(%ポイント) 甲府支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(%ポイント) 松本支店 企業短期経済観測 [業況判断]



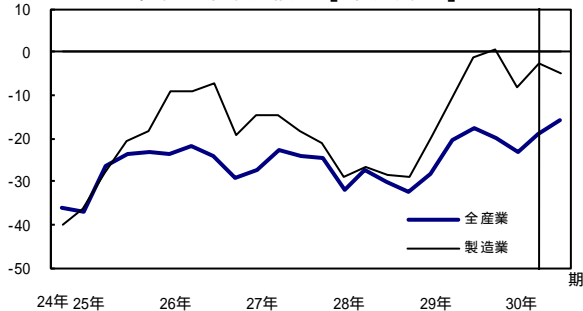
(%ポイント) 松本支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。30年9月は予測。
26年12月及び29年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月及び29年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]

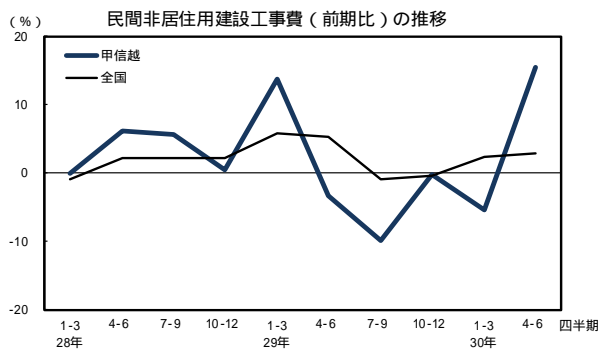


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。30年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「新築工事はやや頭打ちの傾向で、小口、リフォーム工事が増加傾向にあるものの、公共工事は少なくなっている(建設業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



(備考) 1. 季節調整値。

2. 30年4-6月期は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

企業短期経済観測調査[設備投資(6月調査)]

(前年度比、%)

	29年度実績	30年度計画
全産業		
新潟支店	2.0 (2.5)	16.9 (9.8)
甲府支店	14.7 (3.7)	38.4 (25.0)
松本支店	8.8 (2.4)	14.8 (11.1)
製造業		
新潟支店	2.6 (2.8)	21.2 (5.0)
甲府支店	41.9 (6.9)	55.6 (34.0)
松本支店	8.4 (2.8)	18.6 (12.7)
非製造業		
新潟支店	1.4 (2.2)	13.0 (14.9)
甲府支店	17.0 (3.2)	4.1 (4.3)
松本支店	10.9 (0.4)	2.2 (3.2)

(備考) ()は前回(3月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに増加している。

地域別消費総合指数(RDEI(消費))

4月は前月比0.5%増、5月は同0.2%減、6月は同0.4%増となった。

百貨店・スーパー販売額

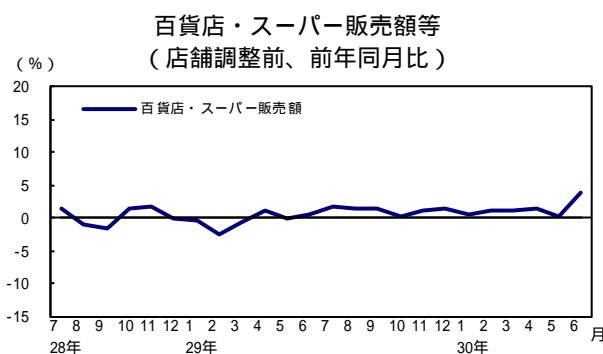
4月は、衣料品は前年を下回った一方、食料品は前年を上回り、全体でも前年を上回った。

5月は、衣料品は前年を下回った一方、食料品は前年を上回り、全体でも前年を上回った。

6月は、衣料品、食料品ともに前年を上回り、全体でも前年を上回った。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[家計動向関連(現状)]

「今月はとにかく猛暑で、冷たい商材が主に動き、2~3か月前に比べれば、若干良いのではないか(コンビニ)」など「やや良くなっている」とする回答が増加した。



	30年4-6月	30年4月	5月	6月
RDEI(消費*1)	1.3	0.5	0.2	0.4
百貨店・スーパー(*2)	1.8	1.5	0.1	4.0
乗用車(*3)	1.0	2.4	1.8	3.1
(季節調整値)(*3)	8.9	11.1	4.8	0.1

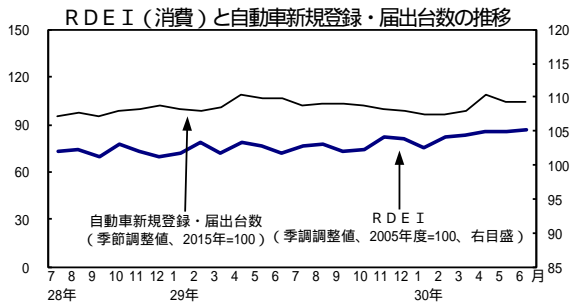
(備考) 1. 季節調整前前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

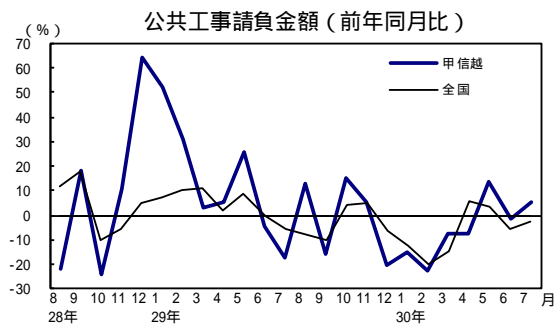
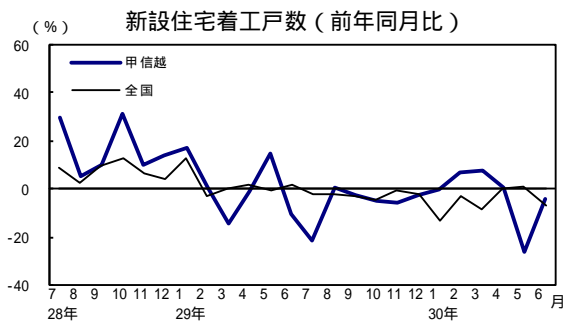
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

(5) 甲信越

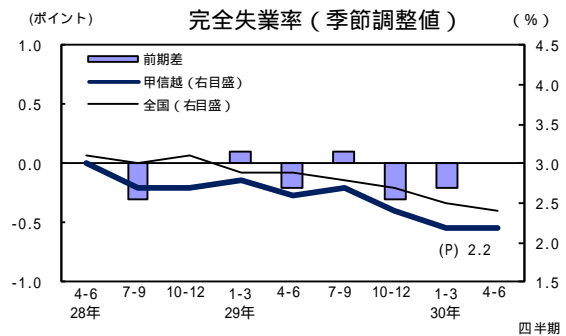
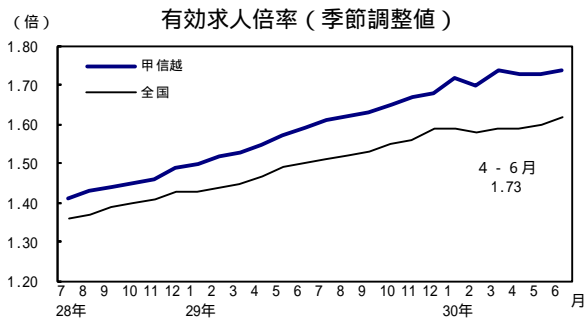


- (2) 住宅建設は前年に比べて大幅に減少している。
持家、貸家が前年を下回ったことから、全体では大幅に減少している。
- (3) 公共投資は30年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は着実に改善している。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。
2. 4 - 6月期の値は暫定値。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [雇用関連 (現状)]

「ボーナスが出ない、あるいは減っている企業は多いが、実際に職安などの求人案内の内容が正しいか不安なようで就労条件等の相談が増えている(人材派遣会社)」などの回答がみられた。

